

## 力強く法灯継ぐ決意

### 佐々木管長就任、天龍寺で晋山式

臨済宗天龍寺派の佐々木容道管長(55)の就任を披露する「晋山式」が19日、大本山・天龍寺(京都市右京区)の法堂で営まれた。

緋(ひ)色の衣と金色の袈裟(けさ)に正装した佐々木管長は須弥(しゅみ)壇の上から仏の教えを説く「法語」を力強く述べ、法灯を継ぐ決意を示した。堂内では有馬頼底・相国寺派管長ら臨済宗各派の管長、森清範・清水寺貫主、上田正昭・京都大名誉教授ら約450人が見守った。

佐々木管長は島根県松江市出身。1995年から天龍寺専門道場の師家(しけ)を務め、平田精耕前管長の死去に伴い、昨年2月に新管長に就任した。



晋山式で法語を述べる佐々木容道管長(19日午前10時半京都市右京区・天龍寺)

平成21年9月

京都新聞WEB版より